

## センター研究・研修計画紹介

### 昭和48年度の研究・研修計画

#### 研究相談部

##### ◇教育研究

##### 1 方針

- (1) 全国的な研究の動向をとらえ、実践上必要な基礎的、専門的な問題を研究する。
- (2) 要望に応じかつ自主的研究を援助するため、研究方法、解決資料の研究をする。
- (3) 研究成果を研修講座に活用し、研修活動の充実をはかる。

##### 2 研究主題

##### (1) 学校経営改善に関する研究

完全学習をめざして、「機能的な構造で、統制され、体系化された活動」をする学校経営のあり方  
 ○方法 実態資料の分析研究 ○対象 小・中・高校

##### (2) 教授組織に関する研究

協力体制で本質的な授業を展開するため、「計画の共同作成、集団の再編成、教師の役割分担」のあり方  
 ○方法 実験学校による実証的研究 ○実験校 小・中校3校

##### (3) 福島県診断標準学力検査問題の研究

診断的性格を帯びた福島県で標準化した学力検査問題の作成  
 ○対象 中校1～3年 ○教科 国語・社会・数学・理科・英語

##### (4) 児童・生徒の社会認識に関する研究

社会認識について、どのような機会に、どんな事象にふれ社会認識を形成するかの究明  
 ○方法 質問紙・面接調査による研究 ○対象 小・中・高校

##### (5) 教育相談に関する基礎研究

現場における教育相談の実態をとらえ、類型別に分析検討しての診断・処置・治療のあり方  
 ○方法 事例の分析研究 ○対象 小・中・高校

##### (6) 学習指導改善に関する研究

教育内容、方法・技術の相互作用の面からの教材・教具の開発  
 ○方法 実験的研究 ○対象 小・中・高校

##### (7) 教育研究法に関する研究

各種学習指導法の理論、その展開過程の取り扱い方  
 ○方法 事例研究 ○対象 小・中・高校

##### ◇教育相談

##### 1 方針

- (1) 臨床的研究を深めるとともに、教員の研修を行な

う。

- (2) 教育上の問題について相談に応じ、また、学校における教育相談活動の援助を行なう。

- (3) 他の専門機関と連携をとり、相談および研究を行なう。

##### 2 内容

- (1) 小・中・高校教員を対象とする教育相談講座

- (2) 児童・生徒の教育相談（来所または書信・電話による）

##### ◇教育資料

##### 1 方針

- (1) 教育図書および資料の充実・収集を計画的に行なう。

- (2) 研究成果の普及および文献・資料等のあっ旋・提供を行なう。

- (3) 各学校・各教師等の研究成果の展示・紹介を行なう。

##### 2 内容

- (1) 教育図書・教育資料の整理・保管・充実

- (2) 図書・資料の貸出（1回2冊3週間を基準）

- (3) 研究物等の展示・紹介

- (4) 教育センター所報の発行（年5回）

- (5) 研究報告書の刊行（研究主題の成果を研究紀要として集録）

##### ◇福島県教育史の編さん

##### 1 方針

- (1) 福島県の発展の中で、本県教育の果たしてきた役割を明らかにする。

- (2) 本県教育の特殊性を明らかにする。

- (3) 現場の教育実践や研究、教育思潮等を明らかにする。

##### 2 内容

本史 全5巻、本年 第3・第4巻刊行予定

##### 教育研修部

##### 1 方針

- (1) 経営管理、教科指導等について、専門的内容を深める研修を実施する。

- (2) 理科、音楽、図工、美術、家庭、技術・家庭等については、実験・実習・実技を主とした研修を実施する。

- (3) 主題研究・演習・協議等により、みずから研修を深めるようにする。

##### 2 運営

- (1) 研修生は学校長の推せんにもとづき、教育センター所長が決定する。

- (2) 研修生の旅費は教育センターにおいて支給する。

##### 3 講座内容